

令和7年度中国・四国農業高等学校長教育研究協議会 教育長祝辞

〔令和7年8月18日（月）
にぎたつ会館〕

本日、令和7年度中国・四国農業高等学校長教育研究協議会が当地愛媛県において、全国農業高等学校長協会の一ノ瀬（いちのせ） 淳（あつし） 理事長の御臨席を賜り、盛大に開催されますことを、大変喜ばしく存じますとともに、御来県いただきました皆様方を心から歓迎いたします。

また、全国農業高等学校長協会におかれましては、農業教育に関する学校運営等の諸問題の研究を通して、各県の農業教育の充実・振興に多大な御貢献をいただいておりますことに、心から敬意を表します。

さて、急速な少子高齢化や人口減少に伴い、地方の過疎化や担い手不足による地域活力の低下が懸念される中、地域経済を維持・発展させるためには、地域を理解し愛着を持つ新たな担い手の確保が不可欠であり、農業分野においても、次世代を担う若者たちに就農の魅力を伝えるとともに、実践的・体験的な学習活動を通して、職業人として必要な資質・能力を育成することが重要であると考えております。

このため、本県では、「えひめ愛顔の農林水産人（びと）」データベースを作成し、頑張っている生産者を幅広く紹介することにより、「稼げる」、「かっこいい」、「感動を楽しめる」農業のイメージを発信し、愛媛の未来を担う若者たちに、積極的なチャレンジを促すこととしています。

また、本県の農業高校では、生徒自らが栽培しグローバルGAPの認証を取得したシャインマスカットを平成30年から台湾へ輸出し、令和元年度から現地の高級スーパーで販売の実習に取り組むほか、地域の食材を使った創作ランチを提供する高校生レストランを定期的に開催するなど、特色ある活動を展開しているところです。

本協議会では、本日から2日間にわたり、新しい時代に向けた農業教育が当面する諸問題について、協議が行われると伺っております。皆様方には活発に議論され、問題解決の糸口を見いだす契機となるとともに、お互いの連携を深めていただく有意義な会となりますことを、期待しております。

なお、皆様方にはお時間がありましたら、日本最古の名湯道後温泉や現存天守を有する松山城など、伊予路をめぐり、愛媛の歴史や文化に触れていただければ幸いに存じます。

終わりになりましたが、本協議会の御盛会と、皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。